

TUMSAT-OACIS Repository - Tokyo

University of Marine Science and Technology

(東京海洋大学)

第一部 海鷹丸航海調査報告 平成10年度 期間
平成10年7月～平成11年3月 海域
日本海及び南太平洋

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2008-04-10 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	https://oacis.repo.nii.ac.jp/records/220

1. 平成10年度(1998年度)航海報告(Report of the Cruise in 1998 Fiscal Year)

1.1. 概要(General Account)

研究練習船海鷹丸の98年度(平成10年度)航海は、新入生を対象とした1泊2日の体験航海(Cruising)では、船上における基礎訓練及び大学生活に関するカンセリングを実施した。第71次航海となる乗船漁業実習IIの日本周航1ヶ月航海では3年次学生を対象とし、東シナ海においてトロール操業実習・日本海においてイカ釣り実習・機関実習(基礎)・航海実習(基礎)等と基礎生産量推定のための研究として航海中の昼間(毎日1回)海洋観測を実施した。9月には水産専攻科学生の習熟訓練と同時にナホトカ号沈没による日本海重油流出事故の海洋環境への影響の調査を昨年を引き続き実施した。また、ドック入渠工事では老朽化対策としてサンドブラスト法により外板塗膜を剥離し、船体外板の状況調査および補修を実施した。専攻科学生の最後の実習である遠洋航海においては、航海実習・機関実習・漁業実習・観測実習の各実習が行われた。今航海では、XBT及び潮流計を使用し、東京～フィジー間における海流観測の実施および南太平洋のフィジー北東海域(南緯4度から南緯7度)においてマグロ操業実習を行い、CTDによる漁場の海洋観測を実施した。またフィジーにおいて漁業の歴史等についての調査も同時に実施した。ニュージーランド(オークランド)及びオーストラリア(タウンズビル)の各寄港地では、P.S.C.(port state control)(船舶設備等)に基づく検査が、各国検査官によって実施された。

年間航海実施表 Annual Cruise Itineraries

航海日程及び航程	乗船乗組員	乗船学生	乗船研究者等	主寄港地備考
Cruising 航海 May.11,1998 ~ May.16,1998	30名	150名 1年次学生	15名 教官/事務官	館山湾
Dock 工事航海(二中) June.1998	30名	0名	0名	浦賀
第71次航海 Nav.No.71 July.11~Aug.10.1998	30名	33名 3年次学生	4名 教官/研究員	那覇、博多、小樽 青森、佐渡、五島
日本海調査航海 Japan Sea Sep.1998	30名	23名 専攻科学生	10名 教官/研究員	下関
Dock 工事航海 Oct.1998	30名	23名 専攻科学生	0名	浦賀
第73次遠洋航海 Nav.No.73 Non.1998~Mar.1999	30名	23名 専攻科学生	1名 パイロット3名	フィジー・オーストラリア、 ニュージーランド・シンガポール

年間航海実績 Annual Cruise Log

航海名	寄港地	期間	航程数	
クルージング航海	東京 館山湾	3回*2日	6日	433.0 哩
ドック工事航海	東京 浦賀		23日	130.7 哩
第71次航海	東京 那覇 漁場 博多 小樽 青森		30日	3481.3 哩
日本海調査航海	東京 下関		16日	1962.6 哩
ドック工事航海	東京 浦賀		23日	83.5 哩
第73次遠洋航海	東京 漁場 ｽﾊﾞ ﾛｰｸﾗﾝﾄﾞ ﾀｳﾝｽﾋﾞﾙ ﾈﾞｼｶﾞﾎﾟｰﾙ		81日	13997.0 哩
その他転錨	東京	9回	13日	33.9 哩
計			192日	20122.0 哩

実習期間 Training Term

実習航海	実習期間	対象学生
臨海実習クルージング航海	May.11,1998~May.16,1998	1年次学部学生
乗船漁業実習II	July.10,1998~Aug.10,1998	3年次学部学生
乗船実習	Aug.23,1998~Mar.23,1999	専攻科学生

調査項目 Survey Items

航海名	調査機器	調査海域	実習操業
クルージング航海	CTD 3回、	相模湾	操船訓練
第71次航海	CTD 25回、光量子計 15回 等	日本周辺	トール漁業
第72次航海	科学魚探	東シナ海	缶釣漁業
第73次遠洋航海	CTD 15回、ADCP、気象情報受画記録	日本海	調査実習
	CTD 8回、XBT80回 ADCP、波高計	西部太平洋	延縄漁業

1.2. 海鷹丸要目表(Particulars)

Name of ship : Umitaka-maru Kind : Training Ship, Motor Ship

Owner : Ministry of Education, Science, Sports and Culture

User : Tokyo University of Fisheries 5-7 Konan 4 chome, Minato-ku, Tokyo, Japan

Port of Registry : Tokyo , Call Sign : JGBB , Name of Master : Yasusuke Takasu

Dimension : Length Overall 79.00 meters, Breadth 12.40 meters ,

Length(P.P.) 71.00 meters , Depth 6.00 meters

Gross Tonnage : 1828.94 Tons , Net Tonnage : 592.00 Tons

Main Engine : Diesel Engine 1,600 p.s.×2 , Single Screw (C.P.P.)

Cruising Speed : 14.5 Knots,

Complement : Officers 15 , Crew 36 , Cadets 60 , Professors 7 , Total 118

Type of Fishery : Stern trawl , Tuna longline fishing , Squid jigging fishing , etc.

Navigation Equipment : Hybrid navigation system, Radar, Automatic radar plotting

このページは非表示です。

This page is hidden from view.